



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成31年4月23日 No.1

新年度が始まりました。よろしくお願いたします。

平成31年度の府中第五中学校は4月6日（土）に始業式、8日（月）の入学式を経て、第1学年5学級、第2学年4学級、第3学年5学級の合計14学級、全校生徒442名でスタートをいたしました。新入生の皆さんのご入学、2、3年生の皆さんの進級を教職員一同、心より祝い申し上げます。

本年度も生徒の基礎的・基本的な学力の一層の向上と健全育成の推進、安全・安心な学校づくり、特別支援教育の充実に積極的に取り組みます。教職員は一体となり、本校の校訓である「自己発見」の精神のもと、生徒に「知・徳・体」の調和のとれた資質・能力を育むことを目的に日々教育活動を行ってまいります。

具体的には、基礎学力の定着のために、「わかる授業」、「その日の学習の目標をもたせ、その達成度はどのくらいだったかを実感できるような授業」を進めます。ご家庭でも復習に重点を置いた、家庭学習の習慣をつけるよう、ご指導をお願いいたします。また、健全育成の推進については、豊かな心と健やかな身体の育成のため、ルールとマナーを守った規律ある学校生活を維持すること不登校の未然防止と状況の改善に、学校をあげて努力してまいります。特に、いじめなどについては、全ての案件に迅速に対応し、組織をあげて解決に向けて努力をしますので、情報提供をはじめとするご協力をお願いいたします。

そして、安全・安心の学校づくりのために門扉及び生徒用玄関の施錠の徹底を今年度も継続して取り組みます。生徒の登校後は東門の通用口のみからの出入りとなりますことについてのご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。物品の納入業者をはじめ、車については、駐車場以外の駐車を認めないことも徹底してまいります。

特別支援教育の充実については、日ごろの教科等の指導に当たってユニバーサルデザインを意識した教室掲示や言葉かけ、プリントの準備などを心がけていと思っております。なお、令和2年度から府中市立の全ての中学校に「特別支援教室」が設置されます。現在、府中第三中学校に通級指導学級が開設されており、特別な配慮による指導を希望する生徒が通級しています。来年度からは、本校にもこうした特別な指導が必要な生徒のための「特別指導教室」が設置され、指導のために来校する先生を待つという方式となります。今年度はその準備をすることになります。

こうした教育活動の充実のためには、保護者をはじめとする地域社会の皆様のご協力をいただくことが不可欠です。どうぞ今年一年、府中第五中学校の教育活動の充実のためにご協力をいただきますよう、よろしくお願申し上げます。

平成31年度 入学式 式辞から（一部：抜粋）

新入生の皆さん、正面に向かって左側に掲げてある大きな縦の額を見てください。そこには「自己発見」という言葉が書かれています。この言葉は本校の校訓です。

「自己発見」とは、府中第五中学校で学ぶ最も大切なことが、「自分らしさ」を発見することであり、「自分のよさ」を伸ばし、「弱さ」を克服し、つらい体験や苦しい体験を乗り越えて、真の意味で強く、そして優しい人に成長してほしいという願いを表しています。本日、皆さんは、この校訓のもと自分を発見する旅のスタートラインに立ったということになります。

そこで、入学のお祝いに私から皆さんに期待することをお話しします。



第一は、「人に感謝する心をもった人になってほしい」ということです。「人は一人では生きてゆくことはできない。」と言われます。皆さんは、学校生活に限らず、家庭での生活においても、先生や保護者の方々をはじめ様々な人の協力を得て初めて、毎日の生活が滞りなく行われることに気付くと思います。

自分に向けられた支援に気付いたら、ぜひ感謝の気持ちを言葉に出してほしいと思います。「ありがとう」のたった一言でいいのです。「おはよう」「こんにちは」という日常のあいさつと同じように「ありがとう」が素直に言えるようになってほしいと思います。

第二は、「自分の可能性を信じ、努力し続ける人になってほしい」ということです。

これから始まる中学校生活で、自分がやろうと決めたこと、目標としたことを実現するまで粘り強く取り組んでほしいと思います。途中でくじけそうになることもあるかもしれませんが、諦めない強い気持ちを持つことが大切であると思います。

第三は、「自分の弱さや至らなさを理解し、謙虚で素直な心をもつ人になってほしい」ということです。皆さんはこれから大人への階段を一步ずつ上っていきます。その過程で、ともすると周りの人からの言葉が煩わしく感じることもあると思います。そのような時にも皆さんの成長を願って発せられる助言や援助を素直に受け入れることを心がけてほしいと思います。そして、逆に皆さんが悩んだりした場合には、周りの大人や友人に遠慮することなく「困っているので助けてください」と相談するようにしてほしいと思います。

本日、縁があって一緒に学校生活を送ることになった、ここにいる全ての皆さんが、こうした行動をとることで、仲良く、助け合う心豊かな学校生活を実現することにつながると思います。皆さんの行動に期待したいと思います。(後略)